

心のありがた

田仲典子

奥深くまで
突き刺さった
涙の氷柱つららにも
消されない
愛の燠火おさび

送り火

ふるさと離れて幾星霜の夜
供養の灯を水面みなもに浮かべる
季節が巡ってきたとしても
わたしはここで
祈ります